

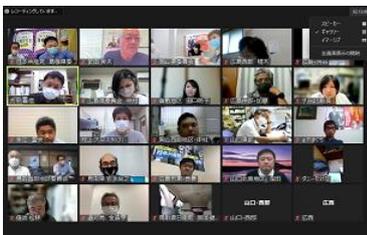
記録的大雨による被害が各地で 大平喜信前議員 さっそく被災地に駆けつけ調査

13日以降、広島県をはじめ各地で記録的な大雨が降り、中国地方各地で土砂災害、河川の氾濫、住宅の浸水などの被害が発生しています。

大平喜信前衆議院議員は、13日に党本部に設置された「8月豪雨災害対策本部」の副本部長として、広島を中心に情報収集、現地調査に取り組んでいます。以下、大平さんのリアルなツイッター配信を紹介します。（写真は、安佐北区では亀山の住宅の土台が崩れ落ちている現場）



- ◇ 広島市西区の田方2丁目。昨夜の土砂崩れ、流木でかなりの家屋被害があり、車が流され埋まっている。
- ◇ 広島市西区の己斐上5丁目。目の前は2M以上の土砂で農地が埋まっており、住宅の裏側には車が何台もひっくり返っている。田方ももちろんそうだが自力、人力での土砂撤去は到底不可能。実態通りの被害認定がされるように被害の状況を写真に撮っておくよう皆さんにお見舞いとともにお声かけ。
- ◇ 広島市安佐南区の山本町。昨日からテレビでも報道されている土砂崩れの被災現場。お墓の無事を確認される方が次々と。町内の皆さんとさっそく駆けつけたボランティアによる片づけも。明日から仕事も始まり、社協のボランティアの組織も急がれる。
- ◇ 安佐北区では亀山の住宅の土台が崩れ落ちた被災者から話を伺った。まず相変わらずの避難所の実態。数十人がそれぞれ毛布一枚で体育館に雑魚寝。夕食は冷たいお弁当で、エアコンもなくトイレも和式。シャワーもない。初日は仕方なくてもしばらく避難生活を送らざるを得ない中、早急な改善を求めたい。被災者が当たり前のように安心して過ごせる環境という点からもコロナの感染防止対策の意味でも各地の避難所の早急な改善が求められる。



鳥取1区 比例と小選挙区の合同事務所開き

8月11日、衆院鳥取1区の「比例」「小選挙区」の合同事務所開きがオンラインで行われました。立憲野党と市民連合からの挨拶、各後援会からの応援メッセージを受けながら、岡田まさかず1区予定候補が決意を表明。大平喜信前衆議院

議員もオンラインで挨拶しました。